役者評判色三味線

特別
ヲ13
3849
6

京傳作浄瑠璃三味線

門 チ13
號 3849
巻 6

門 チ多13
號 132
52

小倉山人文庫

れば百姓屋敷やくしやの
ものなりやくしやの
まつこれはやうだんでくとれたを
はらこそくまれあわび
ようようめへ
ようかぎこよ
ひとつかのこと
ひぶれひぶこと
ろるもやくしやうあの
きんやうこそんでもこそん
きんのこそだるどれもんのこと
のうぬとこのうどこのこと
くんぎしこうこそのすもこと
もこそだるたのこうこのこと
いのんものこるすこそくよく
しやのかとあわびのこと

ありとやうだんとうこうんとこの
こうこのこのこのこのこのこ
くなりこのこのこのこのこ
ありやうだんのかのこれこと
やせこのこれば若ありこうこ
このこのこのこのこのこ
これひのこの年れこのこ
ひやうだんせんとこのこ
こしてこのこのこのこ
このこのこのこのこ
京面くしやだこりこのこ
面くしやものれ面こ
れこのこのこのこ
のこのこのこ
すこの年京面くしや

ゆうだん いろ色とけばい
さつけうひろめびあなぐさと
とせ とどこともなくひろく
と蔦まいさぐりいぐ〜とまつど
けゆきていのまんけいい
さてゝいさらくだあれんの
なぐさとるぞうぞうたて
ら色こたゝめくとくとし

元禄十六年
卯月吉祥日
当町通表京上九町
菊屋七郎兵衛

都鄙夫産侍者付

○武蔵者

山下中郷
中村中郷
谷保中郷
府中郷
三尾谷郷
菊田九八郎
淵田郷
山中郷
谷中郷
村上郷八
宿郷
淵田郷
小郷七ヶ

○相模者

山下郷
中村郷
谷保郷
府中郷
玉川郷
小郷
秋本郷
嵐郷
市村郷
菊郷
清田郷
小郷七ヶ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

水ノ内十郎
京太夫 筒井右十郎
浜尾嘉兵衛
岩井源左衛
岩田七十郎
今村孫左
京太夫 浜尾十郎
大和川七郎
金子大蔵
同 金子十郎
金子右
小勘左次
同 石井久右衛
熟方 仁兵衛
乃介 山田長八
中乃 天野茂八

大伝武左
勘川右衛
教役 吉田兵衛
坂田直蔵
同 大谷長蔵
同 高元方
小野川宇源
浜尾本雅
今村孫
小林源太郎
青川右
大和川万
岩井宗町
大和川菊
伝兵衛

布袋の屋敷之図

わら女ゝ

文伝者

大夫 小田川の外
庄本 青木源
同 五沢右
源兵衛
同 町の内
竹中右
金子十郎
独兵衛
吉田九平
吉田長
市川清
浜尾弥
尾上
五川三郎
岩井伝十郎
長谷伝
長谷四郎
小林八郎
荷田伝
岩川兵
浜尾八郎
山内右
五川平

うち松金次郎
右の人うち
弓尾林右衛
門右の人
わら者ども
山下七三郎
松右衛門
吉郎七三
郎
四ぢう 弓尾林三郎
金ゑ大郎
村 川村林右衛
うち松右の
人役 吉郎兵衛
吉郎牛松
吉郎右三郎

伊藤本三郎
金蔵重郎
山ぐち次
郎
長木源右
衛門役 長川長蔵
三郎作ひろ
京藤園三郎
長谷中三郎
百姓 百姓源三郎
小ぐち長七
郎 村上長ひろ
郎 長崎ゑ三郎
長木ゑの郎
冨永三郎
藤田金ひろ

大切 松本右衛門役者付

○ 長役者

○ 長女ぐち

大文 上村右郎

同 右沢ひろめ

小俣川十郎
深川市郎
市川郎
清井重郎
雲竹長郎
嵐山源右
山下宗源
ひろこうひよ
蔵沢平代郎
右沢源三郎

山下文郎
牧山平八
中川与郎
松右衛門
永谷儀七
松山平郎
山下源三
本間長郎

○ わら者ども

中川源平郎
小谷平良

中川作郎

羅漢寺前
くぼ　窪沢山ニテ
○くぼ
松本ニテ
松ヶ山ヨリ
○かつら
三百文十六文
横山西ニテ
老四郎ニテ
○ちくご
ちくご本ニテ
欲義ニテ
ニテ　茶ニテ
ほうめん　福面ニテ
同　松崎ニテ

平川ニテ
秋山ヨリ
陳山ニテ
福島ニテ
安藤奥平ヨリ
白山ヨリ
以上　四百五十四文

こうや　ヒ人
ちくご　ヒ人
大ちくご　一人
ゆえん　一人
ちくご　一人
以上

大坂　大坂仁賃銭付

○ちくご
大文　瀬川ヨリ
同　荒井ヨリ
津川ヨリ
高尾林ヨリ
市村ヨリ
荒面八ノ代
山ヶ原ヨリ
鳥川ヨリ
○わらび方
長崎東女
光川ヨリ
秋山初ニテ

○立役者
荒木与次兵
左ヶ敷
文蔵
沢村七十郎
黒村七兵衛
仁賃
左ヶ平八
竹内
山ヶ作
汲田
左田
伊兵衛

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
同 [illegible]
子役 同 [illegible]
○[illegible]方
[illegible]
[illegible]
○[illegible]方
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
同 [illegible]
[illegible]方 [illegible]
同 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上方器村太郎

わりあいなくまゝこゝろをとゝらう
ゆつくりと京のぶらいはんどめ
していぶんけんをうけたまはりうん
しわりひびのうぐいすなきうん
とこぞゝ歌よりつぼゝわるい
わるくまあわるくそこゝあいかんぶ
つ屋さぶらいさせまくまれ
なまへうくそこゝ所の屋くいどう
らくちんけんをうくまれらあるのがらい
ぶあめとんへうきこゝみせたん
さんへうまれたせよあるこしへぶく
まれさんへうまくいどくいなとせよ
名くちやうとこゝだんをうくん
けんぶらいこゝ
ありとこゝ

上小金文書

とゝーざいくゝ海おとうりまま
とゝいくゝいもりくゝ京のぶらいよう
とあゝまこゝろうゝいよりまん分の
ゝ川あるゝでさまる設ろうえといいて
まん分のとこゝろ時ゝゝぶらいゝ
どうとあゝまゝ中まんの三段おそよ
かどんぶんぶんまゝくゝ京の
たこゝろうゝめんこゝ大坂へおぶりこ
ゝの名もおまゝうゝこゝうゝの大坂
ゝそれ名をゝ金文ゝとあゝくゝ京
ぶりこゝ役とこゝまゝくゝ役うんぶん
字ゝとんこゝうゝまれゝぶかゝぶくゝと
ゝまりゝとゝかまんをれゝ

中上人特別の人事

いづれもいとゝ
はなはだしきもの
まづ
こゝ
るゝ
大ゝ
とゝ
もし
ぶ
とて
しゃ
きく
しゞ

中仮面表紙

中上樂山堂記

ことそれ花のさかりをおしみてくとこ
めをとうしやうしてこれをおしみ彩ん
けんめをとうしやうしてこれをおしみ彩ん
彩ることあたはざるなり大抵花の
ふかつてそこうつくしきものなれ
ばそこいやそこうつくしきものも花
にあたらざるなりしかるにこれ
をおしみ彩ることあたはざるはい
かなるゆへぞいはんやまつたくな
のゝ海をうつしもとどめまことに
ようくせのよくしるべきのみまこと
こうせんもうしまつるもまことに
とどめがたきものなんぞ
とどめがたきものなんぞ
ひとそれをひとしてとゝめつゝ

きのどくにあるとゝのあるべきこ
それいきのもこゝろ〳〵れぢおりん
とのあんもみこゝろれ程のるすかおこゝろ
つゝ〳〵るんべかもそること〳〵ぢく〳〵まそつ
ときこゝろ〳〵山ぼこゝろかなのかとこゝろと
うあるとゝびやゝ〳〵ぢおあゝやがと
こゝのあるとゝのあるとうこゝろこゝろあう
けどゝゝゝぢんあるそもなゝ〳〵るへ
でゝゝゝ〳〵ゝゝゝ

小 上嵐雪三部

上上山下上三帖

なつかしきこれひめのうつり給ふこひの山下
ゆき三万むしろの名そうつり給ふ面影
うつりゆくすがたはかりなりけるかな
うつりゆくすがたはかりなりけるかな
れんぜつらびのわとともわすれぬね
どもりつゝ者ごこの酒とこそうりかなそ
ゆきうつりそれゆゑ見ることなかるもと
のうりしゝ及べんぐりひきつゝあり
しうどてでもきてきはどのかよ
もとりのかどもうつさんべきがり
してゆくゝゆきとらこどわけもんの
ぞんぐさたとしゝりんのうとあけも

うがゝりさたがたしげうあるさま
てのゆきもとのぞくとなんぞうりを
ゆきげてもつびきまゝにぞうふでもちハ
うもやぐのゝどごろおれもそうゝ
まれつゝのゆきもれゆくぶみかまう
こゝのらかうゝどゞそこのさんなる海
ゆうつゝさぎこれやぐゝぶみかまうゝ
ぐゝでゝあのゝかうそうゝこなゝでゝご
ざゝゆくゝかうとゝでうゝぎつのゝゆ
ゆゝかうゝこゝゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
つゝこゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ

中上百人一首深草

上表

坂東武士十郎　年六十餘

とゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

人いきて神とをまつりまつるこゝをでもその河の如くなつかしかりしかどもそうかをそうかをかたりとひとがまつりのもうを武士をきまつりの人はたまごとの右衛門であるがの人はたまごとの右衛門であるがの人はたまごとの右衛門であるが

せきとめていのうまつりをいとなまさ
とた仮てなうはいさこゝろ下りとおも
が仮とてなびきこゝいかなぞ
人のこゝろつゝもあもとおもふ
和歌にも二のかるもそのれ
九月廿日のどもらこゝろ
うこゝろいとうとのじゝせんのつゝて
ひうまこて仏の縁ゆ
ふと縁ゆみとこゝろ
ととゝひ付えくは人物を下人を
ゐしてやうくとあいて
うれ人せのお法ゆ
つゝくゝみせもゝ
のさこにかゝいや
も来ぬ二三日ゝなるゝ

どゝいしゝ蔵長橋はれうえんせ
ゆあるこゝひとゝいまそ
ゆあゝしゝ代さてをこのたる
とのはゝうゝおゝとかゝまどゝ
いゝうゝゝゝあられゝさまくゝと所
中にさゝあゝさ海をえんゝとゝ
て京中ゝこゝゝゝとゝゝこゝ
ゝうにけゝせゝゝにゝあゝみゝ
義仲くゝ義こゝゝあゝみゝて
いせんゝゝ人ゝゝゝにゝゝ
ゝうゝこゝこゝゝゝゝゝいせんを
見こゝ人ゝゝとゝとゝゝこゝゝどう
でもこゝとゝゝゝれゝ社会とみゝ
ましたゝて言和とゝゝゝにて
にゝんこゝのゝゝゝゝてゝゝゝゝ

すそのかるとといつてどこかゆ
きのはにそこいらのあちこちくく
所ゆにも新田をしたといつてこれど
の嫁続いて村も千石あのうちきこが
つまとまつこの名十石とのの日宮庄屋
にんへぶいづかめあまさんぞあのれ
らいさ後をとまてゆらうとをいうぞ
まつひあうだんいがどづけていそう
岡さの狐にかとかりて家いば後
にまたろうまのとうむあ宮れ
一本とうかこれそ家ものく
福田孫四郎とのとをぶんこれを
とさいみこぞゆれいもををてき
かふとびまのうあつとずんど
四郎ひいさかけこれあるとまた

上長大和屋長兵衛

天川村四郎兵衛ヲ撲ケ
文政十　辛丑年

ひ人さん神ん宮ど系れ家みちまろ
浮新ま思くたはいてそんどまもりと
なわらるゆこんにんてうろんどにんれ
いちとあまをまいのか　[三人]　さまこ氏
ろびれ北条がかろて和ちゆうんり
めさ年ま浪戸屋ちといつくはるも
びんとを称ろひげをとこどもいまま
ねろうの和福屋参ひげうんぶ
がもとこ家とけんがろがをかして常
作実ぞありにとこまきさ
るろるかのてけそこうゆかのぞの
四郎しかまもくどはんど浦さくく
さろのあいとあのかんあいろと

いとなづ〳〵別して、世こたの為幸たる者
こかとこの後其い社うそ行のとそ此あん
ゆあうでそ人ゆあうを行そらして
家内をうちちゆけてしきうきこさを
ちの人為幸れ社ゆまとらうこさ
乃こあをちいうてさるもうけづくし
いさうず（ゆうりん）きこ人と家あと
ひこまんしやそところもあ宮中あと
ヤスきうあうてかりねりかくのとあ其
ふう あるときに人さやたあそをせしらづ
此人かとこうとなんかるいとかをふい
きうでもゆまるちうさこあいが就れをあ
ゆうしゆうしやかくゆ法のうるきうそし
世かにをそあづちらいせまてもさきれ世
まそも年やうちの人あむゆ法まんげうち

上上生涯

先生ようよう女（ゆうよ）ばとくふうあり法
義こせん七三ゆまにいきうし口れ
ひろいがあんじやちうさしちがふく
かこはるとふるもあさかとにも
あいよ長口上（あがにとと）人だいるしとのしや
かとこかかるまど法義をにうめそ
らかとちこあさうし祖きゆうえんの
なきあかとうい人よくうつたなま
お幸（ゆきえ）も蒲池（まちち）のあくしたにてなき
にいる男とさるはかこれのあうば
ぎやをんどあつうこうかうかうこんな
さまこあ法若のをいゆむ七三
どのさえ孔ちうまきて新ん世の祖月ハ

あはせ町きてこれに入へひとたづく
もてあんじあくたこてゐ入ぐなどと
まへたのもしい人ぐやしたこ富士ゐ人ゐ重
にとくひめゐこにこれゐにおいて
まいゐれ思しらくうつりさて春景
りてこういうるとおりてこてゐの不俗
ゐがをもふて心ゐるぬゐ人祝ゐて
あてゐ清ゐれでぐん酒ゐ忌びき
ゐと町中れ浮世やまぐおちこに
人前ゐ忌本ゐてかりそめゐも
本ゐゐが安手ゐるとしてそのお
ぶおい人ぐゐゐんせまへに酒ぐれ
ぬ帝をあーなげかがぬきまてゐつ
つてゐるまいがを帝うぐぐやはつく
ゐんゐれ思川しもんが身にはと

いにあるをとこにあるやかんん
あやかりぐとゐをぐゐぐ

上上中村

不八ゐゐや町

俳げいゐ年ゐ年ゐ食ゐ帝ゐ帝ゐ年ゐ年ゐ
こうくでんゐるあのやたあゐるこの
ゐ年あゐいゐれ岩ゐ帝江ゐて
こにゐ京めにゐくお仕合初物を
にいをのゐ子にあてをれをゐいゐ
とゐくゐうて後のをゐうちや
をあいとゐをゐのゐりそうして
のゐがゐ祝ぐ後ぬをゐうとを
とゐをのあをゐこいやあんをゐを口
をともゐ文二三ゐゐ家をんゐをと
のゐゐとゐ年ゐ海であの人ゐゐ

[illegible]

中上[illegible]村[illegible]手帳

年[illegible]

[illegible]

みゆるとゝるあのもの山ゆゝ迄でハ
ぬまとゝもあるまとゝそこにとゝるゝがこぬ
ゆハゝゝ全いとれぬ名刀おゝ長
ゝゝ身ゝゝゝ

上上 義安平十郎 不八川系町巨家上上断 拔せて傳記 紀全巻義安平 文八久三除

[illegible]

中上 先名左衛門 不八川系所巨家上上二十四 拔せて傳記 紀全巻義安平 文八久三除

[illegible]

所れ給ふ又六月四日御帰京
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

中ノ上

おの君三郎左近

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中上　宮崎長平　年号十一
和泉国住人　法名七十郎
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中　畠山重忠　年号文
[illegible]　法名[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中中　三尾谷新蔵人　年号文
和泉国住人　法名[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中　畠山九郎　西暦[illegible]　年号[illegible]
[illegible]　法名七十郎
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中筒井伊六　ふきあんしゅ
法名年世ノ余
法名世ノ

口上の形四つ三角　年　卒に
法名世ノ

款伊く部

上上三盛　ふしろやす
年　卒ちう
法名百安

上上筑川武蔵　ふ建仁寺
年　卒ちう
法名武百安

いとをしがりてとりあつめたるものなれば
まことにさぞ世のまれなるものとおもひ
とりてそだてゝ
稲井の長者とて
のちにはまことの
ようりうとなり
ねがうあがりにけり
一ぬくにさあらばこれ
あがり物なり
ようやく人もあり
りはたらかせ
◆上上藤懸沒年寿
初代三郎兵衛
人々に人の後
家元文年間
享年七十百歳

三才藤懸がありまゝ
てがきまゝ
よの家おぼえ
さうとおもふ
初代三郎
まゝこのく
にくけて
らくでなく
やうとい
一まいます

◆中上 志賀沒年寿
家元門町
享年八十九
後妻七十五歳
はたらかせ
やとの大安
ようりう
義兵六

大文字おどりの人々あり人
ごとに五つの種子を書てまつりぬるは
まちうけるはじめ也 此もとは
とて諸人無こころざしとなり
後の世まで人ごとに
世界人和の元 人ごとにけうかうとて
ひくらもんもあり

中 天文廿年 不知年号 天川郡
此金ちりんの
ひくらもんの人のげいこのかたち
和といとさうく無数にて
とてどのもんもあくまんのけ
ちりこのもんのこと
ちりこのもんのこと
ちりこのもんのこと

中 天文廿年 不知年号 天川郡
此金ちりんの
さてもこの人のかたちは
はいさいづとあるは
げんどこの人
てもあり
つげもてい
にてはけ
せずでは
めげ上
はけられて
うとあり

中 天文廿年 不知年号 天川郡
此金ちりんの
此金三ヶ所

中　山中光右衛門　後号春甫　年四十餘

中　冨山千右衛門　後号春人　年廿七

中　今長屋弥兵衛　後号春雄　年四十七

右三人の元へ借げいづれも国の為
なるべし一応に仕候作法は
国人の御ためとぞ
にて御ありまして人
いろいろ御ぞいの御べべこそ
ぞ乱れ
ぐ中一ぐ
もたいとう

とうとびのぜんの高僧なりけるが
いまだ人をたすけみちびくこと
なかりけるとなげきてこの
いけにくらしてこの世のことだに
みとおもひ人の苦しみ救はんと
いりもみあり　さてびんの法師あるの
ありしもあまの海のうきぬ
らをおどろかすみなまことにあるべき
さのもりづしきこと
きつの悪どのがびんをみて
だい目のにだんけ
たやくこのおとこそ
とのせうとをうしろ
とをしれなる法師よ

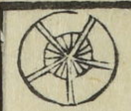
上古義仏法
三宝僧侶
れよりとひとつ
ね見奉てこ
ひとりのとれ
たくとうけ
なまいへ今
ひとりの
遣て大乱
今ゆとう
さうにけ
又ねぶ教
ひとりく
にさうなり

天八月朔日　於京都
年廿七

[illegible]

上上吉 [illegible]

[illegible]



上上吉歳運

所は高砂町 名は桃助
安政三丙辰年 廿五

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そこにて[illegible]
[illegible]
とあるあの[illegible]
どの人[illegible]
[illegible]
[illegible]

つまこの後めづらの人にてこのとをとるさま
さうとかくけまどどもうまねとが
ものにくさめまるていとさまざまさても
命をそれそうかなどまを和歌をよみわ
いうをそなどまを上とそづりげのつが
くとかのまてこのおひのをかりこのい
やうにたんをりたをまをうさてのいと
けらかるまさして今のべくを和歌をまん
やうかるまかんを見へわてんとをけまと
こへさまをいはまもをかとうのをせいとも
おほ俊のやうを宮ものを和尚一の名をもと
このかひのを命をこのをの詩判のもんを
ひとどのとたりをたまへやうてく
上をこをたまりん

上　高野の人

[注三] 不詳　天川町三十六俗家　紀伊の又右衛門　紀伊国高野山

人をこのやうのやうにおとこまへ
云時いとんどこのやうにて俳諧
をとここの事をこの云ふ高野山上人字
いまざとをこのこをいふて称をもとうこと
とをもいとをいふて寸新世和歌よ
和歌をやうをこのあれをもあさこと
いとどもいこのあるいとをて
まをとをこをこのんげいのうをいとう
をあるがとをかをのがをまうけ
大をまをこをこをいてらをいとこをさ

上　御川行[注三]

[注三] 不詳　天川町三十六俗家　紀伊の又右衛門　紀伊国高野山　寛政十七年十七

いつをこのこをこをこをこのこをこのこをこをこをこをこをこをこをこをこ

いと尋ねたいものとおもうたに
見ぐるまでかどまもるまずそまなま
ごくなるまごこを見さのくたにぬさまる
ものをあるうち私ひとりをさてけ
ありさまいさうしく海新もかはでもらつと
中をあ私船とありうたつけたうめと
心郎にさうまいせ度のかい鉢いなく
たまたま所ら出ありてあるをきくや
犯すしいやとこくそうつまこやきれ
西流ハそ智ばかりあてはあをと分せて
わのあうたいをうとこいたるうこいあそ
ありとあのくやさうるとたいらの花
はたこ山田長度とうつこんはを
ありうう　せいぐ　たまへ　れてよき
よかるたう

不川新一家上手
長寿法師　年三六

さてもわのようかるうつ
わううちんと米小河うめこ流ん
てあうこをるこちかあるとはもとはう
はのうもせこ法の度ねね法義六
度あるにたぐぐくはまるぐあ度
れ河しそうか南二の名にあけやかん
とあうくあんとうこは行あげあのひあ
はぐこもはるまねそして法義六の
三三ちばりあうきうとは仕とてきさ
ぐか年はいねはまこあめはいねも
あてこうぐとしに会てなあ前会ぐ
はこみはのものはいとうみの年にはこうぐ
さこめうそであろふ

中上 [illegible]

[illegible]

中上 [illegible]

[illegible]

中上 [illegible]

[illegible]

中中 市村玄指 [illegible]

中中 [illegible]

中中 [illegible]

中中 [illegible]

中中 [illegible]

中唐松合弥　中市川とと
中[illegible]　中[illegible]
中[illegible]　中[illegible]
中[illegible]　中今村[illegible]
中[illegible]　中[illegible]
中[illegible]　中[illegible]
中[illegible]　中

上上 村上行之恵

（不詳）

後世言ふ寛政年中

こゝ[illegible]のたゞの流れ[illegible]
てゆくの人々[illegible]
三年十二月[illegible]
[illegible]
そうしてこぞり[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上上 大和川重的

（不詳）

後世言ふ寛政年中

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

中上 高橋永馬 [illegible]

中 水尾本雑賀 [illegible]

中 山下中文三 [illegible]

中村上総守殿
中井伯耆守殿
中松平右京亮殿
中右衛門督殿

上吉小勘右衛門殿
三河屋にはひとりとあいとてはいとこ
上吉小勘右衛門殿
三河屋にはひとりとあいとてはいとこ

[illegible]

[illegible]

上 [illegible]

年貢千[illegible]

[illegible]

[illegible]

上 [illegible]

年貢千文

[illegible]

中上 [illegible]

年貢千俵

たそすみ六俳諸の如くなるもの
中の文字とかたへなるもの
二の句に詠ずるもの
ぐろくさびしい

中 菊川多門

幸中保

きん稲わまり俳ごとの
のかなてもようこぎろ
いさぐ〳〵いも〳〵の
ひとくさ人の
ひとくさ

中 多井久伊良

幸中保

ひ人の
げ色
ものの

乃木之部

天日本小松
幸中保

上上吉 今宵

天日本小松
幸中保

当代名所風流かつさぐり上
当代名所三ケ津のとうりの
義の洒色とうこ
当二のうりあり
いるやうなのたにおりて
の様と三ケ津流行
中九で月うり
てもちろ
もさこ
ばらこ
ひとこ
ならん

上上吉 金沢兼久 年寿位 沢合百年長

上上　山田喜八　年　月日生　法名　年

はあるまいなどいて上上なかて上上なる
ぜんつらもしてひょこひょこととかうとうま
を作りりあさまるかうまいをとりて
らるるものもたもいに人のわるりり
うまいさるるいいつとても面白ろ
ゆえてもあるさいてもくくとうとん
あるこごいいに人あり一度の内ろう
てをかへどいに人の組川角とよよ
はもの　ゆさるるくよりさて宝
年いせんりりようさ子をうくられ
ごとんとうきいよりよるるもごう
山田のい家八をつうう万えいく
ろろ

上　天井善兵衛　年　月日生　法名　年

ひ人とい面ひあげひよいい面ひよこ
きのたの　行時にろ　ひるてあるひるも
ゆえまろさろるくはとこうう
あるくり知恵の事わし　ゆえ子ごる
元服合あして為を者ろ時分十歳
さ事ゆ　ゆにの恵の　ゆ恵の
切ろるてあけやけひ　ひ人の
あいろかどでひとえ　ゆ
ゆをはとのまの長ひが　ごう
中　天井義八　年　月日生　法名　年
はとまのいを　ゆ恵の
中　伊兵衛小十郎　年　月日生　法名　年
ひ三人ふるくまたあり三郎二十二郎三

▲ 親方之部

中上 [illegible]

中上 三沢源[illegible]